

富津市小・中学校再配置計画(案)

【基本方針】

平成 29 年 1 月

富津市教育委員会

富津市小・中学校再配置計画(案)

I 計画の背景

1 経緯と趣旨

II 市内小・中学校の現状

- 1 市内小・中学校の児童・生徒数推移
- 2 市内中学校部活動の現状について
 - (1) 平成 20 年度からの部活動数の比較
 - (2) 部活動の現状 (H28 年度現在)
- 3 校舎等の施設・整備について

III 小・中学校の適正規模について〔文部科学省手引きより〕

- 1 学校規模の適正化について
 - (1) 学校規模の適正化に関する基本的な考え方
 - (2) 望ましい学級数について
 - (3) 通学条件について
- 2 再配置による利点及び小規模校の利点と課題について
 - (1) 再配置により学校規模を大きくした際の利点として考えられるもの
 - (2) 小規模校のまま存続した際の利点として考えられるもの
 - (3) 学級数が少ないことによる課題
 - (4) 複式学級の課題

IV 市内小・中学校の再配置について

- 1 小・中学校の望ましい学級数について
- 2 富津市小・中学校再配置計画（概要）について

V 再配置に伴う留意事項について

- 1 個別の再配置計画の策定について
- 2 児童生徒の安全安心の確保について
 - (1) 安全安心な登下校の確保について
 - (2) 児童生徒の精神面のケアについて
 - (3) 教育課程上の考慮について
- 3 諸事務の計画的な実施について
 - (1) 再配置までのスケジュール（例）
 - (2) 再配置に伴う諸事務について（例）



I 計画の背景

1 経緯と趣旨

平成27年度に策定した富津市人口ビジョン2040では、本市の人口は、1985年（昭和60年）の56,777人をピークとして減少に転じており、近年では、その減少幅が拡大傾向にあり、2005年に50,162人の人口でしたが、2010年には48,073人、2015年には45,616人に減少しています。また、出生数も2005年276人、2010年229人、2015年218人と減少しており、市の人口は今後も減少していく事が予想されています。

富津市教育委員会では、平成16年度に「富津市小中学校統廃合検討委員会」、18年度に「富津市+小中学校統廃合等検討庁内会議」、19年度に一般市民を含む「富津市小中学校統廃合等検討懇談会」を設置し、20年8月に「富津市小中学校統廃合等に関する提言書」をまとめました。この提言書は、学校の統合は「子どもたちに、より充実した教育環境を提供するという基本姿勢で検討しなければならない」とする基本的な考え方を踏まえた上で、適正規模・適正配置を含めた学校教育全体について計画の策定と公表を市に求めるものでした。教育委員会では、この提言書の趣旨を尊重し、平成21年2月『富津市小・中学校再配置構想』（以下「再配置構想」）を策定し、これまでに再配置構想に基づいて関豊小学校と環小学校の統合を行いました。

学校の配置については、多面的な要素があり、難しい問題ですが、その判断は常に「児童生徒の教育条件の改善」を中心にすべき問題であると考えます。

現在、富津市の小規模校では、個の実態に応じたきめ細かな指導や、一人一人が主役として活躍できる機会の設定など、少人数の良さをいかした工夫をしています。

一方で、統合した小学校の児童は、「色々な人と勉強ができて楽しい」「自分やみんなの意見を聞きあえるようになった」「体育は人数が多いので、競技もできるようになった」など、人数が増えたことによる学習環境の変化を喜んでいる声も聞かれました。

また、保護者からも「人数が多くなったことで、子供たちは活気のあるものになった」「自分の得意分野で、それを上回る能力の友人ができたことで、それをもっと伸ばしたいという意欲が出た」などの声が聞かれました。

富津市教育委員会は、児童生徒の教育条件の改善を図り、発達段階に応じて、意見交換する場や切磋琢磨することにより、たくましい心身を育てていくために、一定規模を有する教育環境が必要であると考えます。

現在、市内小・中学校では、それぞれの規模のデメリットを補う工夫をしながら、そのよさを生かし、教育成果を上げています。

その成果を活用するとともに、地域の実情にも考慮しながら、より適正規模に近い教育環境の中で、児童生徒がさらにたくましく、健やかに成長できるよう地域とともに支援してまいります。そのために再配置構想をさらに一步進めたものとして、本計画を策定するものです。

Ⅱ 市内小・中学校の現状

1 市内小・中学校の児童・生徒数推移

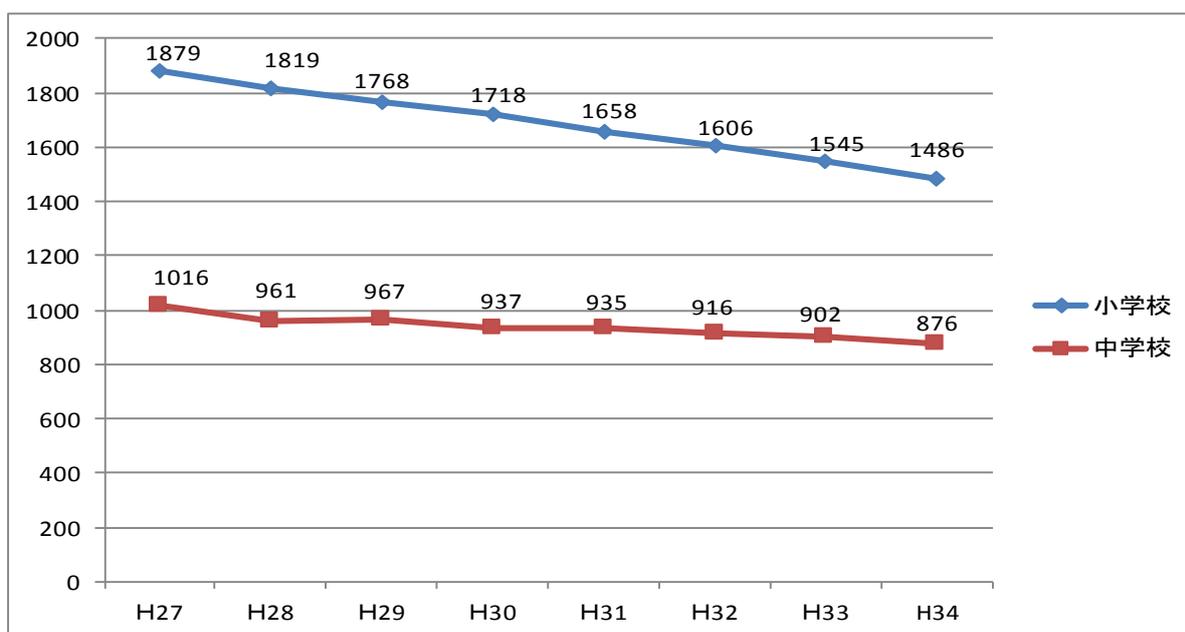
(H28.5.1現在、以降は住所から推計)

		H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34
1	青堀小学校	610	630	634	625	625	624	615	611
2	富津小学校	242	217	203	199	183	172	149	146
3	飯野小学校	214	206	197	189	187	178	176	162
4	大貫小学校	220	216	203	192	176	169	165	144
5	吉野小学校	135	129	123	131	134	127	126	121
6	佐貫小学校	92	79	80	75	69	61	62	52
7	湊小学校	139	135	120	119	108	106	98	89
8	天神山小学校	49	45	40	38	34	35	30	30
9	竹岡小学校	48	42	48	47	46	45	39	46
10	金谷小学校	37	38	39	27	26	25	25	23
11	環小学校	93	82	81	76	70	64	60	62
	合計	1879	1819	1768	1718	1658	1606	1545	1486

※ は、複式学級の存在する学校

		H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34
1	富津中学校	533	509	529	524	536	524	525	517
2	大貫中学校	210	197	187	177	181	167	166	164
3	佐貫中学校	59	61	56	51	41	47	38	38
4	天羽中学校	169	150	148	140	140	133	128	120
5	天羽東中学校	45	44	47	45	45	45	45	37
	合計	1016	961	967	937	935	916	902	876

※ は、学年1クラスの学校



2 市内中学校部活動の現状について

(1) 平成20年度からの部活動数の比較

	富津中		大貫中		佐貫中		天羽中		天羽東中	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
平成20年度	9	8	8	5	3	4	5	5	3	3
平成28年度	10	9	5	4	3	3	5	4	2	2
増減	+1	+1	-3	-1	0	-1	0	-1	-1	-1
平成20年度	4		2		-		1		-	
平成28年度	4		1		-		1		-	
増減	0		-1		-		0		-	

※上段 運動系部活動 下段 文化系部活動

(2) 部活動の現状 (H28年度現在)

	富津中		大貫中		佐貫中		天羽中		天羽東中	
	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
野球	○		○		○		○		○	
サッカー	○		○				○			
バスケットボール	○	○	○	○			○	●		
バレーボール	○	○	●	○		●		○		○
ソフトテニス	○	○	○	○		○		○	○	○
バドミントン	○	○	○	○				○		
ソフトボール		○								
剣道	○	○	●	●	○	○	○	○	●	●
柔道	○	○								
卓球	○	○	●		○	○	○			
陸上	☆	☆								
吹奏楽		○		○				○		
美術・芸術		○		●						
合唱部		○								
園芸同好会		☆								
家庭科		●								

○は、20年度から
継続
●は、廃部
☆は、新設の部活

3 校舎等の施設・整備について

老朽化による、改修等が急務である学校が多いため、早急に再配置計画に沿って、長寿命化等の学校施設整備基本計画を策定する必要がある。

青堀小	富津小	飯野小	大貫小	吉野小	佐貫小
S50(41)	S52(39)	S48(43)	S41(50)	S44(47)	S46(45)
湊小	天神山小	竹岡小	金谷小	環小	
S51(40)	S48(43)	S48(43)	S50(41)	S63(28)	

富津中	大貫中	佐貫中	天羽中	天羽東中
H19(9)	S61(30)	S51(40)	S43(48)	S53(38)

※ () 内数字は、建設からの経過年数〔平成28年度末〕

※ は、大規模改修等を実施していない学校

Ⅲ 小・中学校の適正規模について

※「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」（文部科学省）より

1 学校規模の適正化について

（１）学校規模の適正化に関する基本的な考え方

- ・児童生徒が集団の中で、多様な考えにふれ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて一人一人の資質や能力を伸ばしていくという学校の特徴をふまえ、小・中学校では一定の集団規模が確保されていることが望ましい。
- ・学校では、単に教科等の知識や技能を習得させるだけでなく、児童生徒が集団の中で多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて思考力や表現力、判断力、問題解決能力などを育み、社会性や規範意識を身につけさせることが重要であり、一定規模の児童生徒集団が確保されていることや、経験年数、専門性、男女比等についてバランスのとれた教職員集団が配置されていることが望ましい。
- ・現在の学級数や児童生徒数の下で、具体的にどのような教育上の課題があるかについて総合的な観点から分析を行い、保護者や地域住民と共通理解を図りながら、学校再配置の適否について考える必要がある。

（２）望ましい学級数について

- ・小学校：1学年2学級以上（全校で12学級以上）
- ・中学校：1学年3学級以上（全校で9学級以上）とされている。

（３）通学条件について

- ・適切な交通手段が確保でき、かつ遠距離通学や長時間通学によるデメリットを一定程度解消できる見通しが立つことを前提として、通学時間については「おおむね1時間以内」を一応の目安とする。

2 再配置による利点及び小規模校の利点と課題について

（１）再配置により学校規模を大きくした際の利点として考えられるもの

ア 過去の事例から、児童生徒への直接的な効果について。

- ・良い意味での競い合いが生まれ、向上心が高まった。
- ・教師に対する依存心が減った。
- ・社会性やコミュニケーション能力が高まった。
- ・切磋琢磨する環境の中で、学力や学習意欲が高まった。
- ・友人が増えた。男女比の偏りが少なくなった。
- ・多様な意見に触れる機会が増えた。
- ・集団遊びが成立するようになった。休憩時間や放課後の外遊びが増えた。

- ・多様な進路が意識されるようになった。

イ 過去の事例から、指導に関すること、環境整備等への効果について

- ・複式学級が解消された。
- ・クラス替えが可能になった。
- ・より多くの教職員が多面的な視点で指導できるようになった。
- ・校内研修が活性化し、教職員間で協力して指導にあたる意識や互いの良さをとり入れる意識が高まった。
- ・グループ学習や班活動が活性化し、授業で多様な意見を引き出せるようになった。
- ・音楽、体育等における集団で行う教育活動、運動会、部活動などが充実した。
- ・少人数指導や習熟度別指導などの多様な指導形態が可能になった。
- ・一定の児童生徒数の確保により、特別支援学級が開設できた。
- ・バランスのとれた教員配置が可能になり、免許外指導が解消または減少した。
- ・施設・設備が改善され教育活動が展開しやすくなった。教材教具が充実した。
- ・校務の効率化が進んだ。教育予算の効果的活用が進んだ。
- ・保護者同士の交流関係が広がった。PTA活動が活性化した。

(2) 小規模校のまま存続した際の利点として考えられるもの

- ・一人一人の学習状況や学習内容の定着状況を的確に把握でき、補充指導や個別指導を含めたきめ細かい指導が行いやすい。
- ・意見や感想を発表できる機会が多くなる。
- ・様々な活動において、一人一人がリーダーを務める機会が多くなる。
- ・複式学級においては、教師が複数の学年を行き来する間、児童生徒が相互に学び合う活動を充実させることができる。
- ・運動場や体育館、特別教室などが余裕をもって使える。
- ・教材・教具などを一人一人に行き渡らせやすい。
- ・異年齢の学習活動を組みやすい。体験的な学習や校外学習を機能的に行うことができる。
- ・地域の協力が得られやすいため、郷土の教育資源を最大限に生かした教育活動が展開しやすい。
- ・児童生徒の家庭の状況、地域の教育環境などが把握しやすいため、保護者や地域と連携した効果的な生徒指導ができる。

(3) 学級数が少ないことによる課題

- ・クラス同士の切磋琢磨する教育活動ができない。
- ・習熟度別指導などのクラスの枠を超えた多様な指導形態がとりにくい。
- ・クラブ活動や部活動の種類が限定される。
- ・男女比の偏りが生じやすい。
- ・学習や進路選択の模範となる先輩の数が少なくなる。

- ・ 体育科の球技や音楽科の合唱・合奏のような集団学習の実施に制約が生じる。
- ・ 班活動やグループ分けに制約が生じる。
- ・ 共同的な学習で取り上げる課題に制約が生じる。
- ・ 一人の子どもの考えや行動に、クラス全体が大きく影響を受ける。
- ・ 多様な発言が引き出しにくく、授業展開に制約が生じる。
- ・ 教員と児童生徒の心理的な距離が近くなりすぎる。

(4) 複式学級の課題

- ・ 教員に特別な指導技術が求められる。
- ・ 複数学年分や複数教科分の教材研究、指導準備を行うこととなるため、教員の負担が大きい。
- ・ 実験・観察など長時間の直接指導が必要となる活動に制約が生じる。
- ・ 兄弟姉妹が同じ学級になり、指導上の制約を生じる可能性がある。

IV 市内小・中学校の再配置について

1 小・中学校の望ましい学級数について

本市において、適正規模として考える学級数

	望ましい学級数	必要と考える学級数
小学校	1 学年 2 学級以上 (12 学級以上)	1 学年 1 学級以上 (6 学級以上)
中学校	1 学年 3 学級以上 (9 学級以上)	1 学年 2 学級以上 (6 学級以上)

※ 上記の学級数の根拠

ア 法令上の小中学校の学級数については、「12 学級以上 18 学級以下を標準とする。ただし、地域の実態その他により特別の事情のある時は、この限りではない」(学校教育法施行規則第 41 条、第 79 条)とされている。しかし、平成 27 年に「公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引き」が出され、手引きの中では「望ましい学級数の考え方」で、複式学級が存在する規模の場合「一般に教育上の課題が極めて大きいため、学校統合により適正規模に近づけることの適否を速やかに検討する必要がある」とされている。中学校においては、3 学級規模の場合「一般に教育上の課題はあるが、生徒数が少ない場合は特に課題が大きい」とされている。

イ 本市は、市北部に人口(児童生徒数)が集中している現状がある。

下の表のように、富津市全体の約 70%と広大な面積である天羽地区に、5 小学校 2 中学校があり、全市の約 19%の児童、約 20%の生徒が通っている。また、市の面積の約 16%にあたる中央部の大佐和地区も約 23%の児童、約 27%の生徒が通っている。これらの地区には、公共交通機関も未整備のところが多く、「地域の実態その他により特別の事情(学教法施行規則)」として考慮する必要がある

地区	児童数	小学校数	生徒数	中学校数	面積の占める割合
市 内	1, 819	11	961	5	205. 53 km ²
富津地区	1, 053	3	509	1	約 13%
大佐和地区	424	3	258	2	約 16%
天羽地区	342	5	194	2	約 71%

※児童生徒数・学校数はH28.5.1現在

2 富津市小・中学校再配置計画(概要)について

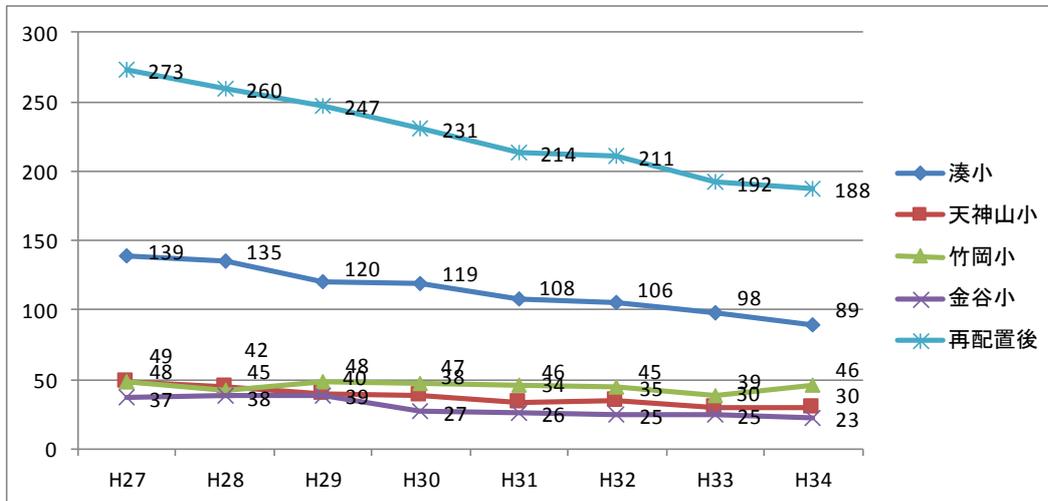
期間の目安	内 容	備 考
～H32 年度	・天羽地区 4 小学校の再配置 (湊小・天神山小・竹岡小・金谷小)	現・湊小学校へ
	・天羽中学校と天羽東中学校の再配置	現・天羽中学校へ
	・大貫中学校と佐貫中学校の再配置	現・大貫中学校へ ・佐貫中生徒で、天羽中に通学 する生徒も考えられる。

※再配置構想では、小学校の適正規模は「各学年 1 学級以上・1 学級の人数は 20 人以上」、中学校の適正規模は「各学年 2 学級以上・1 学級 30 人以上」となっているが、今後の再配置については、児童・生徒数の減少等を考え、小学校では「複式学級の解消」、中学校では「学年 1 学級」を目安としていく。

※佐貫小学校では、平成 33 年に 2 つの学年が複式学級の対象となり、平成 35 年には、4 つの学年が複式学級開設の対象となる可能性がある。また、天羽中学校は、再配置後の平成 41 年には、1 学年 1 学級の学校となる可能性があるため、今後も学校再配置については検討していく必要がある。

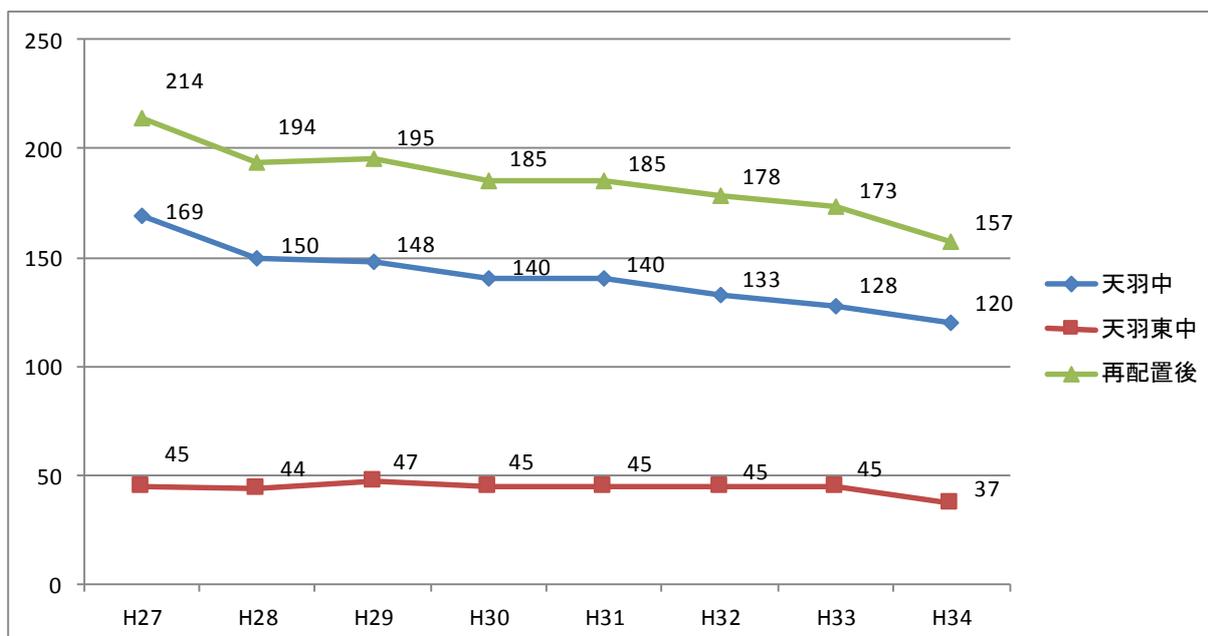
天羽地区4小学校(湊小学校・天神山小学校・竹岡小学校・金谷小学校)を再配置した場合の児童数の推移

		H27		H28		H29		H30		H31		H32		H33		H34	
		人数	学級数														
湊小	1年	23	1	19	1	16	1	21	1	11	1	17	1	14	1	10	1
	2年	18	1	22	1	19	1	16	1	21	1	11	1	17	1	14	1
	3年	20	1	19	1	22	1	19	1	16	1	21	1	11	1	17	1
	4年	21	1	22	1	19	1	22	1	19	1	16	1	21	1	11	1
	5年	32	1	22	1	22	1	19	1	22	1	19	1	16	1	21	1
	6年	25	1	31	1	22	1	22	1	19	1	22	1	19	1	16	1
	合計	139	6	135	6	120	6	119	6	108	6	106	6	98	6	89	6
天神山小	1年	11	1	5	1	3	0.5	6	1	4	1	7	1	5	1	5	1
	2年	6	1	10	1	5	0.5	3	1	6	1	4	1	7	1	5	1
	3年	8	0.5	6	0.5	10	0.5	5	0.5	3	0.5	6	0.5	4	0.5	7	0.5
	4年	8	0.5	8	0.5	6	0.5	10	0.5	5	0.5	3	0.5	6	0.5	4	0.5
	5年	8	0.5	8	0.5	8	0.5	6	0.5	10	0.5	5	0.5	3	0.5	6	0.5
	6年	8	0.5	8	0.5	8	0.5	8	0.5	6	0.5	10	0.5	5	0.5	3	0.5
	合計	49	4	45	4	40	3	38	4	34	4	35	4	30	4	30	4
竹岡小	1年	12	1	3	1	9	1	9	1	5	1	7	1	6	1	10	1
	2年	8	1	12	1	3	0.5	9	0.5	9	1	5	0.5	7	0.5	6	0.5
	3年	6	0.5	8	0.5	12	0.5	3	0.5	9	0.5	9	0.5	5	0.5	7	0.5
	4年	10	0.5	6	0.5	8	0.5	12	1	3	0.5	9	0.5	9	1	5	0.5
	5年	3	0.5	10	0.5	6	0.5	8	0.5	12	1	3	0.5	9	0.5	9	0.5
	6年	9	0.5	3	0.5	10	1	6	0.5	8	1	12	1	3	0.5	9	1
	合計	48	4	42	4	48	4	47	4	46	5	45	4	39	4	46	4
金谷小	1年	3	0.5	8	1	4	1	0		6	1	4	1	3	0.5	6	1
	2年	5	0.5	3	1	8	0.5	4	1	0		6	0.5	4	0.5	3	0.5
	3年	7	1	5	0.5	3	0.5	8	0.5	4	0.5	0		6	0.5	4	0.5
	4年	12	1	7	0.5	5	0.5	3	0.5	8	0.5	4	0.5	0		6	0.5
	5年	3	0.5	12	0.5	7	0.5	5	0.5	3	0.5	8	0.5	4	0.5	0	
	6年	7	0.5	3	0.5	12	1	7	0.5	5	0.5	3	0.5	8	1	4	0.5
	合計	37	4	38	4	39	4	27	3	26	3	25	3	25	3	23	3
再配置後	1年					32	1	36	1	26	1	35	1	28	1	31	1
	2年					35	1	32	1	36	1	26	1	35	1	28	1
	3年					47	2	35	1	32	1	36	1	26	1	35	1
	4年					38	1	47	2	35	1	32	1	36	1	26	1
	5年					43	2	38	1	47	2	35	1	32	1	36	1
	6年					52	2	43	2	38	1	47	2	35	1	32	1
	合計					247	9	231	8	214	7	211	7	192	6	188	6



天羽中学校・天羽東中学校を再配置した場合の生徒数の推移

		H27		H28		H29		H30		H31		H32		H33		H34	
		人数	学級数														
天羽中	1年	61	2	43	2	45	2	52	2	43	2	38	1	47	2	35	1
	2年	49	2	60	2	43	2	45	2	52	2	43	2	38	1	47	2
	3年	59	2	47	2	60	2	43	2	45	2	52	2	43	2	38	1
	合計	169	6	150	6	148	6	140	6	140	6	133	5	128	5	120	4
天羽東中	1年	16	1	15	1	16	1	14	1	15	1	16	1	14	1	7	1
	2年	13	1	16	1	15	1	16	1	14	1	15	1	16	1	14	1
	3年	16	1	13	1	16	1	15	1	16	1	14	1	15	1	16	1
	合計	45	3	44	3	47	3	45	3	45	3	45	3	45	3	37	3
再配置後	1年					61	2	66	2	58	2	54	2	61	2	42	2
	2年					58	2	61	2	66	2	58	2	54	2	61	2
	3年					76	2	58	2	61	2	66	2	58	2	54	2
	合計					195	6	185	6	185	6	178	6	173	6	157	6

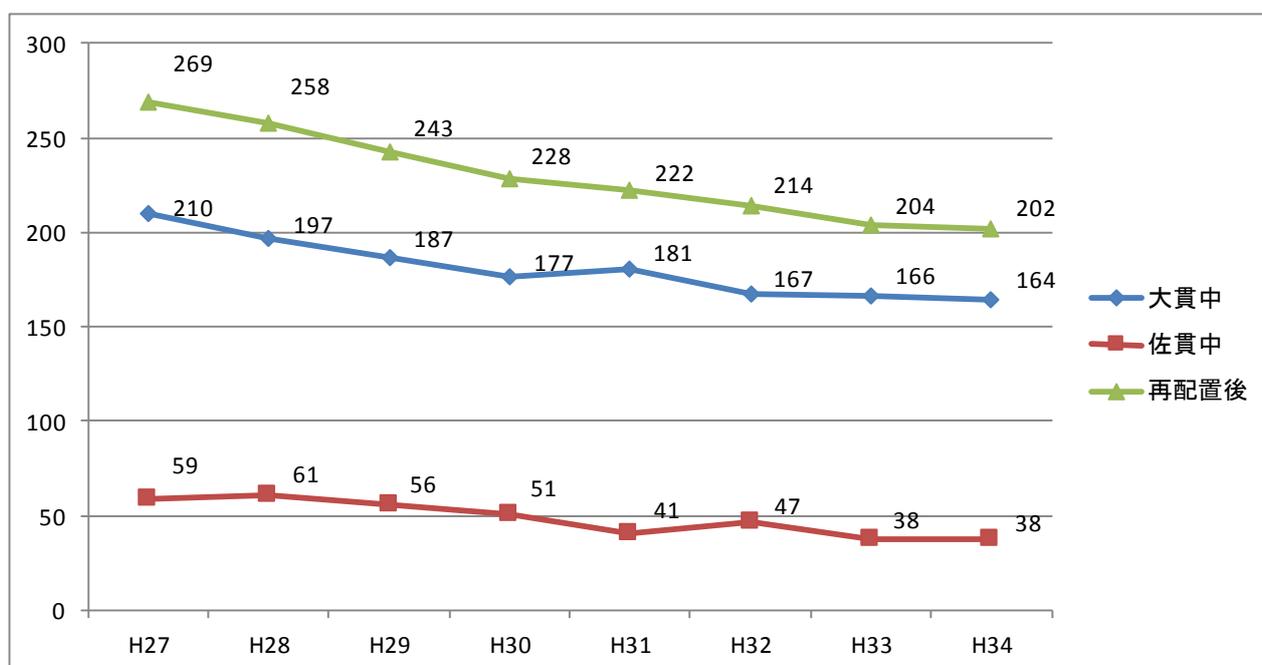


再配置中学校に入学する小学校別生徒数

	H29	H30	H31	H32	H33	H34
湊小	31	22	22	19	22	19
天神山小	8	8	8	6	10	5
竹岡小	3	10	6	8	12	3
金谷小	3	12	7	5	3	8
環小	16	14	15	16	14	7
合計	61	66	58	54	61	42

大貫中学校・佐貫中学校を再配置した場合の生徒数の推移

		H27		H28		H29		H30		H31		H32		H33		H34	
		人数	学級数														
大貫中	1年	64	2	56	2	69	2	52	2	60	2	55	2	51	2	58	2
	2年	78	2	62	2	56	2	69	2	52	2	60	2	55	2	51	2
	3年	68	2	79	2	62	2	56	2	69	2	52	2	60	2	55	2
	合計	210	6	197	6	187	6	177	6	181	6	167	6	166	6	164	6
佐貫中	1年	24	1	24	1	8	1	19	1	14	1	14	1	10	1	14	1
	2年	13	1	24	1	24	1	8	1	19	1	14	1	14	1	10	1
	3年	22	1	13	1	24	1	24	1	8	1	19	1	14	1	14	1
	合計	59	3	61	3	56	3	51	3	41	3	47	3	38	3	38	3
再配置後	1年					77	2	71	2	74	2	69	2	61	2	72	2
	2年					80	2	77	2	71	2	74	2	69	2	61	2
	3年					86	3	80	2	77	2	71	2	74	2	69	2
	合計					243	7	228	6	222	6	214	6	204	6	202	6



再配置中学校に入学する小学校別生徒数

	H29	H30	H31	H32	H33	H34
大貫小	41	36	38	32	31	38
吉野小	28	16	22	23	20	20
佐貫小	8	19	14	14	10	14
合計	77	71	74	69	61	72

V 再配置に伴う留意事項について

1 個別の再配置計画の策定について

- (1) 各学校の学校規模の適正化を進める上で、学校教育の直接の受益者である保護者、将来の受益者である就学前の子どもの保護者を含めた地元住民に対して、十分な説明を行うために、教育委員会はそれぞれの個別のケースについて「再配置計画」を策定し、説明を行うものとする。
- (2) 「再配置計画」には、再配置後の学校の姿(所在地, 校名, 校章, 校歌等)、再配置に関する課題と対応策、再配置へのスケジュール等を明示する。

2 児童生徒の安全安心の確保について

(1) 安全安心な登下校の確保について

- ア 登下校が長距離になる問題については、スクールバスや公共交通機関等の利用により、「おおむね1時間程度(「手引き」より)」になるような交通手段とする。
さらに、以下の点を可能な限り考慮して検討する。
 - (ア) 児童生徒の安全を確保する。
 - (イ) 教育活動に支障がでないようにする。
 - (ウ) 保護者の負担増にならないようにする。

(2) 児童生徒の精神面のケアについて

- ア 児童生徒の不安解消のため、中学校に配置しているスクールカウンセラーを活用し、必要に応じアンケート等を実施し、カウンセリングを行うなど、心のケアについては十分な配慮を行う。
- イ 再配置以前の年度から、教育委員会が支援し、合同授業を計画的に実施することで、友人関係の構築の一助とする。校外学習や修学旅行等の学校行事の合同実施も検討する。
- ウ 保護者はもちろん、児童生徒にも再配置に対する丁寧な説明・対応を行う。

(3) 教育課程上の考慮について

- ア 授業進度の統一については、当該校が連携して教育課程を編成し、詳細な年間計画を作成し、教育委員会も支援し、再配置後の授業に支障のないようにしていく。
- イ 合同授業等を計画的に実施し、授業形態等のスムーズな移行の一助とする。

3 諸事務の計画的な実施について

(1) 再配置までのスケジュール(例)

- ア 「富津市小・中学校再配置計画」に基づき個別の「再配置計画(案)」を作成
- イ 当該学校、保護者、地域(区長等)に「再配置計画」の説明・協議・検討
- ウ 保護者、地域(区長等)の合意
- エ 「富津市立小学校設置条例」改正案提出
- オ 関係例規(通学区域, スクールバス等)の改正を提出
- カ 統合に関する諸事務、取り組み

(2) 再配置に伴う諸事務について(例)

- ア 校名、校章、校旗、校則、校訓等の決定に向けた調整
- イ 校内行事、特色ある教育活動等の調整
- ウ 制服、かばんその他学用品の調整
- エ 教材、教具、備品、図書等の整理・廃棄、他校での活用等の調整
- オ 各種名簿(同窓会)、会計(P T A等)などの整理、引き継ぎ
- カ 学校沿革誌、指導要録、学校日誌等の文書の引き継ぎ
- キ 記念式典の準備, 運営
- ク 学校評議員、学校医等の調整
- ケ P T A、後援会、同窓会等の調整
- コ 学校開放利用団体について調整
- サ 「富津市立〇〇学校設置条例」, 通学区域, スクールバス等の関係例規の整備を行う
- シ 「学校廃止届出書」を千葉県教育委員会に提出するとともに、校舎等の整備時に受けた国庫補助金、交付金、起債について必要な手続き
- ス 校舎・校地の跡地利用について、検討
- セ 保護者、地域住民、市民への広報について、それぞれの方法で実施

※上記は例であり、個別の再配置計画で示す。